

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふくろうハウス			
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日		～	令和7年4月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日		～	令和7年4月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ 個々のご家庭のニーズに寄り添った送迎体制	・ ご家庭の都合に合わせて都度、時間に配慮しております	・ 安全面は勿論ですが送迎中もコミュニケーションの質を多感める様子子ども達と会話をしたり1日の様子を把握出来る様取り組んで参ります。
2	・ 臨機応変な対応力	・ 急な利用の相談等に対応出来る様心掛けております	・ 利用枠などを日常的に確保し電話やラインなどで申込体制を整えます。また日頃から「相談しやすい」を大切にし保護者様との信頼関係を築いて参ります。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 限られたスペースの中での活動になり、静と動の空間分けの支援に限界がある。	・ 子供たちの成長と共に活動スペースが狭くなってきました。	・ 「人員基準を満たせばOK」ではなく、職員それぞれの得意を活かして音楽やアート、運動、学習など取り入れて活動を行う。 また職員を多めに配置して安全に屋外活動も積極的に取り組む。
2	・ 資格保持者(児童指導員・保育士・理学療法士・作業療法士)などの確保が難しい ・ 地域的な問題もあり、福祉人材自体の人員不足が問題となっている	・ 人員確保の手段については若年層の応募に繋がりがやすいツールを利用する必要があるが、ハローワークや少数のアプリに頼っている	・ 現時点で無資格や未経験でも研修制度やOJTを強化していき、既存職員のスキルアップを進めます。 ・ 医療機関や相談支援専門員、訪問看護など外部の専門職と連携し助言をもらいます。
3			